

鳥取県

No.41

発行: 令和5年3月

鳥取県福祉相談センター

福祉相談センターだより



鳥取県福祉相談センター

鳥取市江津318-1

TEL:0857-23-1031

鳥取県福祉相談センター

鳥取県中央児童相談所

鳥取県婦人相談所

鳥取県東部知的障害者
更生相談所

福祉相談センターは、中央児童相談所と婦人相談所、東部知的障害者更生相談所を統合した機関です。

「もしかして？」ためらわないで！ ☎ 189 (いちはやく)

(児童相談所虐待対応ダイヤル)

NEW 里親支援専任の児童福祉司の配置(R4年度～)

里親委託を推進し、里親の皆さんをフォローします！

里親委託へ向けた調整、里親さんの支援を行っています。

児童相談所が「この子を里親さんにお願いしたい」と考えたとき、子ども・里親さん双方のことを総合的に判断し、子どもにとってどの里親さんにお願いするのが良いのか検討できるよう、普段から里親さんと「顔の見える関係」を目指して業務にあたっています。



カヤック体験を通して交流

鳥取県は、里親委託率60%を目指しています

- ・里親制度の普及啓発活動、研修の実施、訪問支援
- ・里親による相互交流（里親サロン）、里親メンターの養成 など



里親登録についてお知りになりたいかたは、ぜひお問い合わせください
受付窓口（東部）鳥取県福祉相談センター 0857-23-6080

福祉と教育の連携

児童相談所への教員配置（H18年度～）

- ・教員の持つ専門性、学校現場のノウハウを、児童相談所の業務に生かします
- ・学校現場と児童相談所の連携の推進します
- ・児童相談所勤務で得られたノウハウやネットワークを今後の教育行政に生かします

出向教員からひとこと（児童相談課 係長 石井 憲和）

全く予想しなかった異動の知らせ。非常に過酷な現場というイメージ、不安しかないというのが異動の話聞いた時の率直な感想だった。

実際に勤務して今思うことは、ここで勤務できて良かったということ。今まで教員として経験を重ねてきたが、関係機関と関わる事がほとんどなく、関係機関について全くと言っていいほど知らなかった。しかし、学校が多く関係機関に支えられていること、それらの機関によって子どもや家庭が支えられているという事実を知った。私は、児童相談所でケースワーカーとして関係機関と関わり、子どもや家庭に深く関わり、知見を広げた。教員として、児童相談所にどれだけ貢献できたかはわからないが、他のケースワーカーから、現場から多くのことを学んだ。

児童相談所での経験は、今後の子どもとの関わり、家庭との関わりにつながるものであると感じ、また経験を生かさなければと思う。児童相談所での勤務は私にとって本当に貴重な経験であった。



いやな気持ちをため込まないために～へっちゃん君～



虐待によって、無力感や自己肯定感の低下が起こると言われています。

自己肯定感が低いと、自分に自信が持てず、自分の安全が脅かされるような困った状況で、適切な対応が難しいことがあります。

また、児童は被害を自分の責任と感じてしまいやすく、今の状況や今後の生活に不安を抱えている可能性もあります。

そのような児童に対し、被害によって低下した自己肯定感の回復と、同様の状況になった時の適切な対処方法を知ってもらうため、心理教育を行っています。その中で使用している絵本「へっちゃん君」についてご紹介します。

「へっちゃん君」はどんなお話？

ある日、へっちゃん君は、公園でブランコを貸してもらえなかったり、髪の毛にジャムをつけられたり、水たまりで転んだり、悪口を言われたりします。

そのたびにへっちゃん君は、「へっちゃんへっちゃん」と言って、いやな気持ちを、ポケットや靴下など自分の中の色々な所にしまい込んだり、飲み込んだりします。

ところが、いやな気持ちを色々な所にため込みすぎてしまい、へっちゃん君は、垣根の中で身動きが取れなくなってしまいます。

そこへ小さな赤い「かしこどり」がやってきて、へっちゃん君にこう言います。

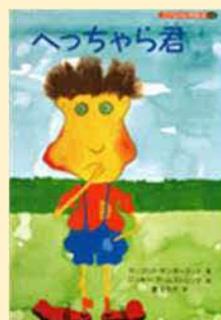
「君の気持ちを、少しでも自由にしてあげるといいよ。」

「気持ちを全部自分でやりくりするのは、ものすごくおずかしいことだよね。」

だれかにたすけてもらうことだよ。」

それを聞いて、へっちゃん君はほっとして、自分の気持ちを話し始めます。

「ぼくは、へっちゃんじゃない！」・・・(続きはぜひ絵本を読んでみてください)

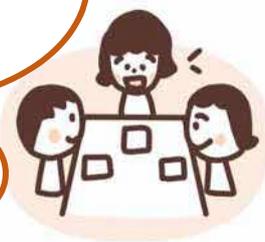


心理教育では、「へっちゃん君」の絵本を通して、

- ◎被害に対して自分を責める必要はないこと、
- ◎いやな気持ちは一人だけで抱え込まず、安心できる大人に相談すること、
- ◎相手にいやなことをされた時、「やめて」と言うなど、気持ちを適切に表現することを伝えています。

ソーシャルスキルトレーニングの手法を用いて練習も行います。

他にも、個々の児童に合わせ、必要に応じて様々な要素を取り入れながら面接等を行っています。





毎年11月12日～25日は、「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。
 福祉相談センターではこの期間に合わせて、センターロビーでのパネル展示を実施。
 さらに、鳥取県立図書館、鳥取市男女共同参画センター輝なんせ鳥取(丸由5階)、
 性暴力被害者支援センター(クローバーとっとり)と**コラボレーション!!!**
DVについての知識 や パートナーとのより良い関係 について

広く皆様に考えていただくことを目的に、特製パネルを展示しました。

鳥取県立図書館



鳥取県立図書館では、児童虐待防止月間と合わせてDV防止・児童虐待防止のパネルを展示。関連書籍を多数紹介していただきました。

輝なんせ(丸由5階)



輝なんせ鳥取では、性暴力被害者支援センター(クローバーとっとり)さんともタイアップし、DVや性暴力の予防啓発や相談支援についての情報を周知しました。

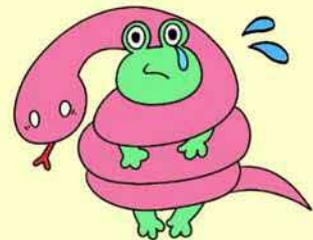
そもそも DV(ドメスティック・バイオレンス) とは?

配偶者などの親密な関係にある人が、**暴力で相手を支配すること**です。

DVには、次のような暴力があります。

- 殴る蹴るなどの身体的暴力
- 暴言・無視するなどの精神的暴力
- 生活に必要なお金を与えないなどの経済的暴力
- 性的行為を強要する・避妊に協力しないなどの性的暴力
- GPSで居場所を管理・働かせないなどの社会的暴力
- SNS等を利用したデジタル暴力

デートDVは、交際相手との間におきるDVです。



恋愛トラブル「嫉妬」について考えてみよう

「嫉妬や束縛をされてうれしい」「愛があるからヤキモチやくんだ」
・・・という恋愛観があるかもしれません。
しかし、「嫉妬の気持ち」を「行動」にうつすことで、
相手の「安全・自信・自由・成長」をうばってしまえば、
その行動は、「DV」になってしまう危険性が高くなります。

よいよい関係のための ヒント 1

気持ち と 行動 を区別しましょう。

気持ち

ひとりじめしたい！
束縛したい！
自分のことだけ見て！
わたし・ぼくのことを
一番に考えてほしい！

行動

殴る 監禁する
行動制限・行動チェック
ルールの押し付け
相手の許可なくスマホ操作
異性との友人関係を制限する...



よいよい関係のための ヒント 2

自分の良さや魅力に自信をもつことも大切！

でも、嫉妬の気持ちをガマンするのはつらい…！

嫉妬はどんな感情からくるの??

嫉妬の原因になる気持ちとは??



よいよい関係のための ヒント 3

自分は自分、相手は相手。

自分は自分、相手は相手！！

それぞれが、自分のことは自分で決められることが大切★

相手が何を考えて行動するかは、相手の問題。

モヤモヤする気持ちは、自分自身で解決する。

相手の問題を考えても心配しても仕方ない。

自分の時間は自分が楽しいと思えることに使ったほうがいいよネ！



これらの内容は、キャンペーン中に各展示場所で展示しました。
当センターロビーやデートDV予防学習実施校(高等学校・中学校)でも掲示されています。

一時保護所の活動紹介



あまあま、ほくほくの
焼き芋ができた♪



図鑑を使って調べたよ♪

☆農園を作りました！

センター入口の荒野を一から耕して、農園を作りました！
児童と一緒に畑の土づくり、種まき、苗植え、水やり、、、炎天の中汗水たらして育てた野菜を調理したり、焼き芋にしました。来年も楽しみです！☆

☆生態調査をしました！

学習活動の一環として、センター周辺に生息している生物を調査し、マップにまとめる課外活動をしました。自然との触れ合いから生物の分布や生態について勉強しました！
地域の方との交流や交通ルールなども身に付けました！☆